



# りす俱樂部

2025年  
9月号  
第333号

## 秋の訪れ

気が付けば、秋の気配。時の流れは速いが、辛さ、悲しさを癒してくれるこれほどの良薬はない。しかし、忘却と忘恩は、紙一重の差し向かい。恩義を忘れていないかと。自省のうちに夜が更ける。

弁護士 福井大海

(りす俱樂部 2016年9・10月合併号第246号掲載を再掲)

## 福井先生

長い間ありがとうございました

りすシステム 創始者 松島如戒

### 福井大海先生ご逝去のお知らせ

りす俱樂部2002年11月発行の101号から先月号2025年6月号までの表紙を飾ってくださいました福井大海先生が、去る7月11日、突然ご逝去されましたことをお知らせするとともに、心より哀悼の意を表します。



### 清水勇男先生とのご縁から始まった福井先生との出会い

福井先生とのご縁を結んでくださったのは、検事・公証人として同じ道を歩んでこられた、清水勇男先生でございます。

りす俱樂部がそろそろ100号を迎える頃のことでした。清水先

生から「福井大海という同僚だった公証人が、広島の公証役場に赴任された。福井先生は趣味を超えた水彩画の画家としても著名な方なので、りす俱樂部の表紙画を描いてもらったらどうだろう」とのご提案をいただきました。

当時の黒澤、森スパーバイザーほかスタッフに相談すると「美術年鑑に掲載されるような画家の方なら、費用はどうなるだろう」と心配する者もいました。「清水先生からは、本職は公証人なので、費用の心配は無用と言われている」と伝えると、スタッフ全員で大喜びして、福井先生に表紙画をお願いすることになりました。文字通り福井先生には終生にわたり表紙画をご提供いただきました。改めて御礼を申し上げます。

**水彩画を描くことを優先し、転勤された福井先生**

清水勇男先生からご紹介いただいたのは、福井先生が広島公証人合同役場の公証人のときでした。

ある時「今度、福井県の福井公証人合同役場に転勤する」とのお話を伺ってびっくりしました。「公証人に転勤してあるんですか」と、思わずお尋ねしました。すると、福井先生は「たまたま福井県の役場に空きができたので、願い出て福井に行くことにした」とおっしゃるのです。「福井県はりすシステムの利用者もほとんどいないので、何故ですか？」とお尋ねすると、「僕は北前船の寄港地を追いかけてその景色を描くことが好きで、瀬戸内海はほぼ描き終えたので、北陸に北前船寄港地も多いので、腰を据えて水彩画を描きたいのだ」とおっしゃっていました。

福井の公証役場時代には、カニが旨いから是非にとお誘いをいただき、熱湯に生きているカニを入れて押しつけるようにして茹で上げたカニの美味さは格別でした。もう何年も前のことですが、忘れられない思い出です。

**福井先生との深いご縁**

福井先生から、毎年春の日本水彩画展には、りすシステムの利用者をご招待いただいたのを機に、上野精養軒で昼食会を催し、絵画に造詣の深い方々のみならず毎年100名ほどの利用者が

「花とだんご」を楽しませていただきました。りすシステムの全国の支部の利用者からの要望もあり、水彩画会の地方展覧会に合わせた福井先生を囲む絵画鑑賞会も好評でした。

昨今、超大手の企業や団体以外でオリジナルカレンダーを制作しているところは少なくなつたようですが、りすシステムでは、もやいの会・功徳院・すがも平和霊苑のお墓でご縁のある方々で希望される方に、福井先生の原画によるオリジナルカレンダーを毎年制作しお届けしております。

現在制作中の2026年カレンダーは、トップページは「りすシステム20周年記念」に福井先生が中国支部事務所に飾るようにとご惠贈いただいた、未発表の素晴らしいお花の画をつかわせていただくこととしました。

そのほかの6ページに関しては、りす倶楽部表紙画として公表済みの作品の中から編集部が選定した秀作を使わせていただいております。

りす倶楽部の表紙につきましては、現在編集部を中心に検討中でございますが、当面はリバイバルとして既刊の秀作を表紙画として使わせていただきたいと思います。

**福井先生遺作展と生前契約基金について**

なお、こんな企画も思案中です。福井先生の遺作展を九段の本部事務所会議室で開催し、ぜひ、りす倶楽部掲載の先生の原画をお手元で鑑賞したいという方に対する、即売会を考えております。

売り上げ金は、生前契約基金に繰り入れることといたしたいと存じます。

温暖化による災害、社会的な変動などに備えるため「生前契約基金」の創設を、生前契約制度の創設以来模索してまいりました。長年日の目を見ることができなかつたのですが、今年9月下旬の法人社員総会の議決を経て実現する予定でございます。

りすシステムの財政は利用者の皆さんからの「親族がいなくて悩んでいたが、りすシステムに出会ったことで安心して人生のラストステージを過ごせる。りすシステムが永遠に健全な運営をすすめるために遺産をりすシステムに遺贈する」というご厚意によるところが大きいのでございます。

それらを無駄に使うことなく、「生前契約基金(仮称)」として積み立てまして、天災・人災などの危機に備えることにしたいと考えております。

「福井先生遺作展」でお買い上げいただいた全額は「生前契約基金」に積み立てることといたしますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

**福井先生への感謝をこめて**

福井大海先生への惜別の思いは尽きません。永遠に安らかに眠りください。福井先生のご功績を胸に刻み、深い感謝とともに追悼の言葉いたします。



## 元 捜査官のつぶやき…

### メロンの思い出

夏の異動で快適な北国の地検から関西の地検へ転勤した。

うだるような暑さの夕方、汗をふきふき帰宅すると、玄関に大玉のマスクメロンが2個置いてあった。

「これ、どうしたんだ」

「一寸前に、〇〇さんという年輩の女の人がみえて、息子がお世話になっていますと言って置いていったんですけど……」

妻が不安そうな目をした。

私は、〇〇さんという名前を聞いて、すぐにその日の午前中役所にやってきた中年の女性のことを思い描いた。取り調べ中の暴力事件で嘆願にきた少年被疑者の母親であった。妻のいう人相や特徴から間違いなかった。

「だめじゃないか、こんな物もらって」

「だって、これを置くなり逃げるように行ってしまったんですもの！」

仕方がない。すぐに役所の当直に電話をかけ、記録を見てもらって住所をメモし、メロンをぶらさげて官舎を出た。

まだ着任して間がないため、地理不案内の悲しさ、それにあわててとったメモの不正確さも

あって、メロンは重くて汗は流れる。やがて夕日が落ち、油蟬からひぐらしの声にかわるころ、小さなあばらやのその家にたどりついた。

「こういうことをしてはいけないのです。」

受け取った私はもちろん、渡したあなたも罪になるんです」

「申し訳ありませんでした。つい……」

母親はエプロンで手を拭きながら、メロンの前で小さくなり、頭を何回もさげた。その姿がメロンに向かってお辞儀をしているようで、なにかユーモラスだった。それで疲れも忘れ、心がふとなごんだとき、そのメロンの上がぬれているのに気づいた。母はうつむいてポタポタと涙を流しているのがあった。

私はその後、マスクメロンを見るたびに、あの日のことを思い出すのである。

しかし、それにしてもあのメロン2個の重かったこと。



(りすシステム監事 清水勇男)

元検事・公証人・弁護士。東京地検特捜部の時代、ロッキード事件の捜査・公判に関与し、現在団体役員など。

# 歴史ある木 コウヤマキ

東京大学名誉教授 谷田貝 光克



## ● 古くからの利用

本州、四国、九州に分布する。特に和歌山県の高野山から大台ヶ原にかけて広く分布するこ

とにその名を由来するコウヤマキ (*Sciadopitys verticillata* Sieb.etZucc.) は、スギ科コウヤマキ属の常緑の針葉樹の高木です。大きなものでは高さ30〜40m、幹の直径が1mにもなります。コウ

ではあるのですが、コウヤマキも立派な木と考えられていたのかもしれない。  
コウヤマキに似た名前の木にイヌマキ (*Podocarpus macrophyllus* マキ科) があります。イヌは劣るの意でコウヤマキとは全く違うグループに属し、葉の長さもコウヤマキのように長くなく短めです。すぐ判別できます。暖地の生垣などに利用されている木です。

日本書紀(巻一 神代 上)には須佐之男命(スサノオノミコト)が尻の毛を抜いて撒いたらマキになった、そしてその木を用いて棺桶を作れとの記述があります。実際に古墳時代の棺には広く用いられていたようです。このマキをイヌマキとする説とコウヤマキとする説がありますが、イヌマキでは大きな材を得ることはできませんのでコウヤマキという説が妥当なようです。

丹波の国浄土寺古墳(京都府南桑田郡)、近江の国安養寺古墳(滋賀県栗田郡)、河内の国御殿山古墳(大阪府枚方市)から出土した木棺はいずれもコウヤマキで、須佐之男命の言うマキはコウヤマキと考えてよさそうです。

万葉集には20首近い「真木」を詠んだ歌がありますが、「奥山の 真木の板戸を 音速み 妹が あたりの 霜の上(江)に寝ぬ」など、万葉集のマキを詠んだ歌の「真木」は「まことの木」や「優れた木」を意味し、特定の木を指したものではありません。



コウヤマキの葉



コウヤマキの実

ヤマキ属は中生代から北半球に広く分布していましたが、日本固有種のコウヤマキのみが現存しています。やはり中生代に繁茂し、現存している生きている化石と言われているメタセコイアと共にコウヤマキは生きている化石とも呼ばれています。ヒノキ、サワラ、ヒバ、クロボと共に木曾五木の一つにもなっています。  
マキは「真木」で、良質の木を意味しています。しかしコウヤマキを指しているわけではなく優れた立派な木との意味

いと解釈されています。広辞苑では「真木」は純粋な木の意のほか①スギの古名、②イヌマキ、ラカンマキ、コウヤマキなどの名、③建築材料の最上の木の意、また、ヒノキの美称と解説しています。日本書紀ではマキはスギやヒノキとは違う木として区別されていたようです。それを裏付けるのが古墳から発掘される木棺にコウヤマキで作られたものが多いことです。

### 水湿に強く火に強いコウヤマキ

庭園樹として利用されていますが、材として量的にまとまって出材されることも少ないので建築材としての目立った用途はありませんが、漬物桶などの桶類、棺桶、水湿に強いので浴槽、飯櫃に用いられています。耐水性に優れているので和船の用材に使われていたこともあります。材としての量が少ない現在では古代のように棺桶に使われることはあまりないようです。

コウヤマキは耐水性に優れているので古い時代には木橋の橋杭に使われていた例がみられます。



コウヤマキの材

古墳から出土する高貴な人の木棺に使われていたのも耐水性を考慮したからかもしれません。

樹皮は楨肌（まいはだ、まきはだ）と言い、ヒノキの樹皮（檜皮ひわだ）と同じように、舟や桶の継ぎ目に詰めて水漏れを防ぐのに使われてきました。高野山で真言宗を開いた空海は、花や果樹の栽培は商売につながり修行の妨げになるとして栽培を禁じ、代わりにコウヤマキの小枝を仏前に供するようになったということです。今でもお盆の時期が近づくと高野山付近では小枝の剪定がよく行われるということです。

コウヤマキはイチョウと同じように火事に強いと言われています。話は飛びますが、浅草の浅草寺では関東大震災の時にイチョウなどの周囲の木が寺の消失を防いだといわれています。また、東京大空襲の際には焼夷弾を浴びながらもお堂を守り、人を守ったというイチョウの木があります。万物の霊長といふ自然の営みを牛耳ってきている私たちですが、自覚してはいないものの自然の営みの中で自然の恵みを受けながら生かされているのです。

幹に焼け跡の残っているこのイチョウは源頼朝が参拝の際に挿した枝から発芽したと言い伝えられている樹齢約800年のものです。イチョウは火に強いと言われていますが、コウヤマキも同じように火に強いのです。焚きつけに使うスギやヒ

ノキの葉のように火がつきにくく、葉が厚く少し硬めで水分も多め、そして幹にもほかの木よりも水分が多いので燃えにくいからかもしれません。その理由はよくわかりませんが、火に強いコウヤマキはそれで寺社の境内に植えられてきたといえます。



コウヤマキの丸太

### 精油その他の生理活性

水蒸気蒸留により枝葉から0.1〜0.3%、材から2%の精油が得られます。葉には肺がん、肝癌などのがんの抑制に効果があることが知られているα-ピネンという香り成分のほかに、材と葉に香り成分セドロールが含まれていて、セドロールの香りのもとでは入眠時間が短く、睡眠時間が長くなり、結果として睡眠効率が高くなるということが証明されています。

# 考古学のはなし

第14回

## 最近の考古学ニュースから その1

NPOりすシステム顧問

古賀秀策

今回はちよつと趣向を変えて、最近のニュースから考古学関連の重大なニュースを取り上げて見てください。いずれも人類の起源や古代DNAに関するニュースです。この分野の研究が日進月歩なのがよくわかりますね。

### 広島冠遺跡で約4万2000年前の石器を発掘 研究者が発表

広島県廿日市市にある旧石器時代の遺跡で、およそ4万2000年前の石器を発掘したと、奈良文化財研究所の研究者が発表しました。(中略)これは、25日茨城県つくば市で開かれた日本考古学協会の研究発表会で、奈良文化財研究所の国武貞克主任研究員などが発表したものです。(NHKニュース 2025.5.25)



図1 冠遺跡石器出土状況 (朝日新聞 2025.5.25)

用した260万年前から縄文時代が始まる1万6000年前までの時代をいいます。日本では人が石器を作り始めるのが縄文時代からです。それ以前は石や木や動物の骨で道具を作っていた時代になります。今回発見された石器と同じ地層から出土した木炭を、放射性炭素(C14)で年代測定すると、4万2300年前のものという結果でした。これまで発見された旧石器時代の最も古い石器は3万8000年前だったため、日本最古の石器の年代が43000年も遡ることになります。

### ●ホモ・サピエンスの日本到達も早まるか

この発見が日本の歴史に与える影響は石器の古さだけではありません。前回の「古代DNA後編『日本人のきた道』」で、ホモ・サピエンスがアフリカを出て日本に来たのが4万年前というお話をしました。しかし今回の発見で言えることは、ホモ・サピエンスは6万年前にアフリカを出て、北海道・対馬・沖縄ルートのいずれかのルートで、4万年前にも前に日本に到達しており、4万2300年前には広島で生活を営んでいたということです。

今回発見された370点にもおよぶ石器の中に、槍の先につけるような先が尖った「尖頭器」という石器があります(図2)。その縁は削り取られてノコギリの歯のようになっており、これは中国大陸や朝鮮半島で出土する同時代の石器と特徴がよく似ているということです。このことから、初めて日本列島に入ってきたホモ・サピエンスは中国大陸や朝鮮半島の人で、石器と一緒に対馬ルートで日本列島へ入ってきたのかも、と考えると何かワクワクしますね。



図2 冠遺跡の石器 中央の先が尖ったのが尖頭器 (朝日新聞 2025.5.25)

最初は、原人が石器を初めて使

### ●広島県廿日市市 冠遺跡 国内最古の石器が出土

最初のニュースは、ホモ・サピエンスが出アフリカから4万年前に日本に到達したという定説が修正されるかもしれない大発見です。

旧石器時代とは、原人が石器を初めて使

**台湾沖合で見つかった人類の化石 デニソワ人と判明 東大など**

台湾の沖合の海底で見つかった人類の化石を、東京大学などの研究グループが分析したところ、現在の人類と共存していた異なる系統の人類、デニソワ人のものであったと分かりました。研究グループではデニソワ人がアジア中に広く暮らしていたことが分かる貴重な発見だとしています。(NHKニュース 2025.4.11)

● **台湾のアジア第4の原人**

次のニュースは謎の人類「デニソワ人」に関するものです。

前々回の「古代DNA前編〜人類のきた道」でお話しましたが、デニソワ人はネアンデルタール人や私たちの祖先ホモ・サピエンスと同時代に生きており、この3者は時には交雑もした近い人類でした。しかしデニソワ人は謎の人類と呼ばれるように、その実物は歯や指の微小な骨片しか見つかっておらず、まさに実体のないDNA上の記号のような存在でした。

分析された化石は

2015年に台湾の海底からさらい上げられた下顎の骨で、「澎湖人」として報告されていた骨です(図3)。長く海底で洗われていたことか

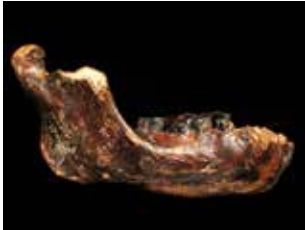


図3 澎湖人の下顎骨 (撮影: 総合研究博物館・海部陽介教授)

らDNAはうまく抽出されませんでした。その頑丈な形態から「アジア第4の原人」と称されてきました。

● **DNAがダメでもタンパク質を分析**



図4 デニソワ人の化石発見場所 (西日本新聞 2025.7.21) に加筆

性であることもわかりました。

これまでデニソワ人の骨はシベリアとチベットなどの北アジアからしか発見されていきましたが、東アジアでも存在していたことがわかりました(図4)。そして一部ですが骨格の特徴も判明した大発見ということが出来ます。また古代DNAが回収できない化石にも古代タンパク質は残存しており、種を正確に同定できる研究の方向を示したことも大きな成果だったといえます。

● **デニソワ人の頭骨が判明か**

次もデニソワ人のニュースです。この頭骨は中国のハルビンで1933年

日本・台湾・デンマークの共同研究チームは、化石に残ったタンパク質の配列を分析しデニソワ人のものであると明らかにしました。同時に男

**中国・ハルビンにデニソワ人頭骨 謎の人類、タンパク質解析で判明**

中国東部のハルビンで発見された少なくとも約14万6000年前の頭骨の化石は、タンパク質などの解析により、絶滅した旧人「デニソワ人」と分かったと、中国科学院などの研究チームが17日までに発表した。デニソワ人はこれまで断片的な化石しか見つかっておらず、頭骨が確認されたのは初(共同通信 2025.7.17)



図5 竜人の頭骨 (PHOTOGRAPH BY XIJUN NI)

に発見され、その後14万6000年前に存在した新種の人類「竜人」として2021年に発表され、論争を巻き起こした(図5)。

今回の分析では最もDNAが残やすいといわれる内耳からはDNAを抽出できず、歯石からミトコンドリアDNAを抽出してデニソワ人とわかったということです。またタンパク質の分析からも同じ結果が得られたということです。

これでデニソワ人の頭骨も明らかになりました。デニソワ人の頭は幅が広く縦に短く、目の上に突出した眉弓があり、体も非常に大きかったと考えられています。また、東アジアに広く分布していたこともはっきりしました(図4)。

次はどんな発見があって、デニソワ人の姿が明らかになっていくのか楽しみですね。



地球に恩返し、森づくり事業部では、2009年より大分県由布市庄内町・地球に恩返し、森づくりを通して、環境活動や里山保全活動を続けています。今月は、地域未来計画研究センター長ヴァアファダリカゼム立命館アジア太平洋大学教授より、人と自然の共生モデル実践例を教えてくださいました。

## 谷地域の伝統的知識 中山間の逆境を拓く恵み

地域未来計画研究センター所長  
立命館アジア太平洋大学教授

### ヴァアファダリ カゼム

酷であり、水不足で悩まされるとい  
う特徴があります。

一方、谷地域は中山間地域であり  
ながらも農業が盛んで、米、イチゴ  
やアスパラなど様々な農産物が栽培  
されています。現在では、農業は谷  
地域の基盤であり人々の生計やライ  
フスタイルにとって必要不可欠なも  
のとなっています。かつてこの地域  
では水不足に悩まされていたにもか  
かわらずです。

### 提子井路が育む豊かな実り

谷地域の農業繁栄の礎となってい  
るのが提子井路です。この水路は、  
多様な農産物の栽培に欠かせない水  
を供給している農業用水路でよく知  
られています。かつて深刻な水不足  
に悩まされていた谷地域ですが、地  
域住民であった工藤三助が中心と  
なって、近隣の河川から水を引き提  
子井路を開発し、水不足を解消して  
きました。現在でも地域の人々は提  
子井路を維持・活用しており、こう  
して様々な農産物を栽培することが  
できています。

### 農業と文化が織りなす里

さらに、谷地域は農業が盛んなだ  
けでなく、精神的・文化的遺産も豊  
富です。その代表的なものが神社や  
公園です。地域のランドマークであ  
る白岳神社には上宮と下宮があり、

それぞれに見どころがあります。上  
宮からは由布岳や鶴見岳一帯を一望  
でき、大分市まで見渡すことができ  
ます。また、下宮には菅原道真公を  
祀る「学びの石」が設置されており、  
伝説によるとこの石に触れると千恵  
が授かり頭がよくなるそうです。

文化的遺産として地域の代表的な  
公園である大將軍公園には、地域に  
深く根付く歴史や文化に触れること  
のできる神社や展望台があります。  
大將軍神社は牛馬の神として信仰さ  
れています。

その昔、肥後藩主が江戸へ参勤交  
代に行く途中、馬が病気になるたの  
で大將軍神社で病気が治るように祈  
願した。すると翌朝、馬は奇跡的に  
回復し、旅を続けることができた。  
という神社にまつわる有名な伝説が  
あります。

大名は、そのときのお礼として、  
毎年1月に祭りの開催を始めまし  
た。このお祭りの伝統は現在まで「大  
將軍神社春の大祭」として受け継が  
れており、もともとは牛馬の安全や  
健康を祈願するお祭りでしたが、現

### 水不足だった中山間地域

由布市挾間町の南西部に位置する  
谷地域は、文化、自然や農業が深く  
織りなす中山間地域として活気に満  
ちた地域です。中山間地域は一般的  
に平地が少なく、微気候の条件が過



谷地域の田園風景

在では人々の無病息災を祈願する人々の参拝で賑わいます。

谷地域の農業景観を見渡せるあしなか



白岳神社

石展望広場は、地元住民のみならず県外在住の方々にも人気なスポットです。展望広場までの道のりには、初恋岩や夫婦岩があり、昔に地域で起きたストーリーを楽しみることができます。

かつて篠原村に住んでいた若者の与助が村長の娘さんと恋に落ちたときの物語です。2人の交際を快く思わなかった村長は、与助に「崖の上の大きな岩で1人であしなか（農作業に使う履き物）を作ることができたら結婚を許す」と言いました。その後、与助は見事にあしなかを完成させ、結婚を許されました。こうして、展望広場の岩は「あしなか石」と呼ばれるようになったそうです。

あしなか石の上に立つと、連なる山並み、大分川や代々大切に受け継がれてきた提子井路によって形成されてきた水田など、雄

大な田園風景を垣間見ることができます。

農業の営みが紡ぐ谷地域の魅力

谷地域は人々による営みと自然の調和のとれた共存の証です。その豊かな農業遺産は提子井路に支えられ、白岳神社や大將軍神社のようなその土地に根ざした文化的な伝統の継承によって支えられています。さらに、あしなか石展望広場で楽しむことのできる伝説やパノラマビューは、この地域の歴史や景観との深いつながりを感じることもできるのであります。谷地域は、歴史や伝説を大切にし、人々の知恵と協力、そして提子井路という改革を通じて、地域の課題を克服しながら、豊かな農産物を育ててきました。そして今も、農業を営むことで形成されてきた美しい景観、地域に根ざした文化など、農業を通じて生み出された継承された様々な恵みを楽しんでいます。



提子井路

文化など、農業を通じて生み出された継承された様々な恵みを楽しんでいます。

「地球に恩返し基金」に寄付をいただき、ありがとうございました

岩坪 延枝さん  
山口 静人さん  
小池 紀子さん  
杉山 敏子さん

東京都中野区  
埼玉県所沢市  
福岡県福岡市  
東京都多摩市

丸尾 直彦さん  
M.M さん  
山口 和江さん  
50音順 匿名1名

大分県大分市  
東京都杉並区  
東京都文京区



※ 2025年8月1日～8月31日の期間、8名の方から寄付をいただきました  
※ M.Mさんが1000ポイント達成されました

地球に恩返し運動について

私たちの生命を育ててくれている地球!! このやさしい地球に少しでも恩返しをして、次世代に美しい地球を残しませんか。皆様のご寄附で「地球に恩返しの森」に植樹ができ、銘板にはあなたのお名前が刻まれます。

※匿名希望の方は、振込用紙の「通信欄」に「匿名希望」と、ペンネーム希望の方は「ペンネーム」を明記の上「ご依頼人欄」には必ずお名前をご記入ください。



NPO りすシステム  
地球に恩返しの森づくり事業部

地球に恩返し運動本部  
連絡先: TEL.03-5215-2383

地球に恩返し  
基金振込先

●郵便局から振り込む場合  
郵便局口座番号: 00140-7-743432  
加入者: 地球に恩返し基金

●他行からゆうちょ銀行に振り込む場合  
店名: 〇一九 (ゼロイチキユウ)  
種目: 当座 口座番号: 0743432  
加入者: 地球に恩返し基金



## 東日本支部 ゲリラ豪雨とサポート

時間厳守はサポートの基本ですが、最近のゲリラ豪雨はパートナー泣かせです。Oさん(86歳・男性)とSさん(90歳・女性)のサポートのケースです。

## ▶濡れた靴下で話し合い

その日は、施設長、ケアマネジャー、りすシステムで、今後のことについて話し合いが予定されていました。約束の時間は13時30分でした。電車で最寄りの駅を降りて階段を上がり一歩外へでたら雷が鳴り土砂降り。既に道路は川になっていました。

約束の時間が迫っており意を決して施設へ向かいました。靴は水浸しで施設に着いた時には靴を脱いで水を出してびしょ濡れの靴下を履いたまま話し合いに参加しました。

Oさんは入院して体調管理すること

が望ましいと医師から言われていたのですが、Oさんの心配は入院したら足腰が弱って、施設で今までのような生活ができなくなってしまうということでした。Oさんの思いを叶えるためにそれぞれがどのようなサポート体制をとるかの話し合いでした。

話し合いの結果を書面にしてそれぞれが署名して終了。終了後、Oさんの署名、捺印が必要な書類があったので、一緒に自室に伺ったのですが、靴下も濡れているため室内に入ることには遠慮させていただき、玄関先で署名、捺印を頂きサポートを終えました。

## ▶Sさんの緊急事態～入院サポート～

Sさんは激痛により新横浜の病院に緊急搬送されたので、入院手続きと医師説明のサポートでした。入院手続きを済ませSさんに挨拶をして看護師に出された書類に代理記名し医師の説明を受けました。

激痛の原因は検査の結果胆のうの捻転によるものだったので、摘出し、食事がとれるようになれば施設へ戻れます。入院期間は1～2週間との説明でした。

腹腔鏡手術では、腹部に5～12mm程度の小さな切開(穴)をあけて(手術の種類によって3から5か所程度)、内視鏡や手術のための鉗子(かんし)やハサミを挿入するための筒(ポート)を挿

入します。お腹をCO2ガス(炭酸ガス)で膨らませ(気腹)、ポートから挿入した内視鏡により腹腔内(術野)の状態をモニターに映し出します。術者は、モニターを見ながら、他のポートから挿入した手術道具(鉗子やハサミ)により手術を行います。最後に切除した臓器を小穴より摘出し終了します。この術式は患者への負担も少ないそうです。

Sさんのサポートは問題なく終えたのですが、当日の午後は東京都と神奈川県に「記録的短時間大雨警報」が発令された新横浜駅に着くと東京へ向かう電車が落雷や、河川の氾濫の影響でストップとなり駅で1時間ほどの待機を余儀なくされました。

## ▶自然災害を考慮した施設選びの重要性

今年のように頻りにゲリラ豪雨が発生すると、今後の会員の施設選びは「経済面」「近くに医療機関があるか」「施設の雰囲気」「食事」「サポート人員の割合」などの条件の他に、自然災害に対する強さ(地盤の固さ、水害に強いかなど)を含めた方が良く思われました。



パートナーの

活

動

報

告



九州支部 安心をつなぐ 14 年 K さんの歩み

▶りすシステムとの出会い

K さん（93 歳・女性）は、14 年前にりすシステムと契約をされました。「夫は亡くなり子どもがいない、きょうだい、甥、姪はいるが迷惑をかけたくない。どうしたものか」と公証役場へ相談に行ったそうです。公証人は「あなたにピッタリの法人がある」とりすシステムを紹介して下さい、即、個別説明会に参加されました。

現在のおぼえがき書類は、数回の面談で完成。公正証書作成後、すぐに次のサービスを利用されました。

- ・現在居住している 2 階建て賃貸住宅の身元引受保証（契約者であったご主人が亡くなり改めて賃貸借契約締結の為）
- ・ご主人が金銭管理をしていたそうで、銀行・証券会社窓口手続きに付き添い。

さらに、K さんは「ボケない・できるだけ歩く・薬に頼らない」をモットーに受診拒否、新興宗教に傾倒。義理堅い性格の K さんは、新興宗教が催す展示会で着物や浄水器等を購入。また訪問販売に乗せられ、高価な布団・眼鏡・空気清浄機など購入（分割払い含む）などの気がかりな行動がありました。

住宅には、セコムを設置。地域包括支援センター、民生委員の訪問で、介護認定を受けてはと提案ありましたが、受診拒否のため、申請できず、近くの安価な自費ヘルパーとの契約をしました。

▶支援が必要となった日々

りすシステムの行事には、コロナ禍前までの談話室・忘年会・新年会は皆勤賞を差し上げたいくらの出席率でした。受診拒否の K さんでしたが、ヘルパーの連絡で救急搬送を要請しました。入退院を繰り返すこと 4 年、住宅型有料老人ホームへの入居。コロナ禍真っ只中、退院後ホームでの対応も限界があるため、特別養護老人ホームの申込を開始。4 年前のお誕生日は、コロナ禍で外出禁止。面会も時短の窓越しでした。K さんのリクエストの品をお届けし、喜んで召し上がっていたそうです。

入院が長くなり、本人の意思を確認後、ホームへ退去届を提出。リハビリを目的に、介護医

療院で特養入居の順番待ちをしました。

2 年前の 4 月、特養に入所することができました。コロナ禍で面会禁止の時期もありましたが、可能な限り、窓越しでも、大きな声で会話をしました。面会に行っても傾眠状態（※）の日もあり、がっかりして坂道をバス停まで歩いたこともありました。

今年 1 月、やっと面会時間が長くなりました。難聴傾向にある K さんの耳元で大声で話しかけました。3 月に施設内でコロナ陽性者が出て、また面会禁止となりました。

▶ご逝去から納骨まで

4 月、ホーム看護師から血尿が出たので検査しますと連絡がありました。その数日後、呼吸停止の連絡があり、死後事務を開始しました。

5 月、ご主人が開園当初から住職をされていた新宮霊園の墓じまい、返還届（権利放棄届）・改葬許可申請書の提出（契約者の祭祀主宰者としてりすシステム）

町役場での改葬許可申請手続を経て、霊園のお墓から遺骨を取り出しました。7 月ご主人の実家滋賀県の満徳寺へ、ご夫妻の遺骨を納骨しました。甥の住職からは「永代に供養させていただきますので、ご安心ください。長い間お世話になりました」と挨拶されました。

※傾眠状態：医学的に「刺激すれば覚醒するが、すぐ眠る状態」のこと





パートナーの

活動報告

西日本支部 安心して旅立つための企画書

▶ Tさんの歩まれた最後の時間

Tさん（86歳・女性）は、ご親族のサポートのもと、契約されました。

りすシステムが入居の保証をし、施設で穏やかな毎日を過ごされていたTさんですが、ご契約から1年半ほど経った今年の2月、深刻な胃がんが見つかったのです。実はTさんは、**企画書**をまだ作成していらっしゃいませんでした。ご病気に対し積極的な治療は希望されないとのことで、施設に戻られましたので、甥の方が来られるタイミングで、**企画書**を作成しようということで、準備を進めました。

甥の方は遠方にお住まいですので、退院から2週間ほど後に面会に来られることになりました。しかし、来られるというその日の朝、Tさんは息を引き取られました。甥の方が駆け付けてくださり、葬送に親族が8名参列されました。ご親族に思われ、見送られての旅

立ちでしたが、企画書がなかったので、Tさんのご希望に沿っていたかはわかりません。

相続に関しても、甥御様方が動いてくださいましたが、ご逝去後に急遽いろいろと願うことになったりしましたので、ご負担も大きかったのではないかと思います。

▶ もしものときに備えるために

保証パックで申し込みされる場合には、企画書を書く前に契約が成立しますし、保証等も行うことができます。しかし、せっかくご自身のこれからのことをしっかりと決めることができるのですから、ぜひ、企画書を含むおぼえがきを完成させていただきたいと思えます。

もしもの時はいつ来るか分かりません。お気持ちが変わることがあれば、いつでも書き直しができますので、ぜひ、今のお気持ちをしっかりお知らせください。

墓じまい体験談～遠距離でも安心～ パートナー 山下智弘

沖縄在住のK夫妻は、長年にわたり「墓じまい」の問題を抱えておりました。その問題を解決できたとお礼のお手紙をいただきました。



▶ 現実と向き合って

東京都杉並区にある先祖代々のお墓は、叔父の代まで守られてきましたが、叔父が亡くなり私が墓地の継承者となり、改めて現実と向き合うことになりました。私たちは沖縄在住。高齢と体調の不安もあり、何度も東京へ足を運ぶことは難しく、後を継ぐ家族もいない。頭ではわかっている、自分の手ではどうにもできない状況に、気持ちは沈むばかりでした。

▶ 『りす倶楽部』は一筋の光

そんなとき、「りすシステム」から届いた『りす倶楽部』の中で目にしたのが、「のうこつの窓口」さんの活動報告でした。そこには、誰かの不安に寄り添い、確かな手で導いていく姿が静かに描かれていました。その文章に触れた瞬間、「ここなら大丈夫だ」と、直感のような安心感を覚えたのを今でもはっきり覚えています。

▶ 温かい声に包まれた安心感

すぐに社長の山下さんからお電話をいただきました。初対面にもかかわらず、温かい声と落ち着いた説明に、私たちの心はすぐにほぐれていきました。その後も、電話と郵送だけのやりとりとは思えないほど、丁寧で真摯なご対応を続けてくださり、不安なこと

はひとつひとつ、確実に解消されていきました。

▶ すべてが穏やかに完結

そして先日、閉眼供養・お骨出し・新しい納骨先へのご埋葬と、すべてを無事に終えることができました。これまで何年も悩んできた「墓じまい」が、ようやく、穏やかな形で完結したのです。

今後控えている墓地の解体工事についても、お寺の業者さんと交渉していただき、良心的な価格で進めていただけるとのこと。ここまできめ細やかに、心に寄り添いながら導いてくださるとは、正直、想像もしていませんでした。

▶ 「安心」という宝物

「墓じまい」とは、単なる整理や手続きではありません。これまでの家族の歴史と向き合い、自らの人生の終わり方を整える、大きな決断です。そんな人生の節目に、信頼できる方と出会えたこと。それは、私たちにとって何よりの「安心」という贈り物でした。

同じような悩みを抱える友人が、私のまわりにもいます。その方々にも、ぜひ「のうこつの窓口」さんをご紹介したいと思っております。

心から、感謝申し上げます。



編集後記

⑧癌の手術から10年過ぎた!

お陰様で再発もなく安定した日々を過ごしている。細胞検査の結果や手術の同意書診療明細書など処分しようと思った書類の中から「りすシステム スタッフ研修文章の書き方」というクリアファイルが出てきた。提出した文章に大きなハナマル、すっかり良い文章ですねとベタ褒めの評価。せっかくだから(?)ご披露します。サラッと読んでね。「癌ですね。とっちゃいましょうか」。言葉とは裏腹に穏やかな医師の声に意識が自分から離れていく。まるでTVドラマを見ているような感覚。「よろしくお願いします」。手術の日程を決めて病院を出ると急に涙があふれてきた。どうしよう……怖くて悲しくて……誰にも寄りかかれない……現実を受け入れる。色々な思いがぐるぐると渦巻く。「テン・ノ・カ・ミ・サ・マ・ノ・ユ・ウ・ト・オ・リ」。

手術の日は、ちょうど誕生日だった。心配そうに覗き込む娘たちに伝えたいことはたくさんあったはずなのに……。「大丈夫、行ってくる。バスデーケーキよろしくね」。目が覚めると窓枠の中に夏のような青空が見えた。入道雲? あっ、ビル群か……その前に浮かぶのは点滴の管……ポタ、ポタ。そっか、生きてたなあ。もつと感動するかと思っただ。もう一度、窓を見る。「生きてたなあ。カ・ミ・サ・マ・ノ・ユ・ウ・ト・オ・リ」。なんだか可笑しくて少し笑った。

(芳賀みゆき)

先日、映画「国宝」を観てきました。これが……

なんともすごい映画でした。3時間という長さに最初は身構えていましたが、時間を忘れてむしろ終わってほしくないと思いつつやっつて映画館を出たのか……完全に放心状態でした。邦画でこれほど傑出した作品は久々でこれは間違いなく彼らの代表作となると思います。映画館で観てよかった作品です。

歌舞伎という世界の奥深さを改めて感じさせられました。歌舞伎の家に生まれ血筋に守られた俊介とヤクザの家に生まれながら芸に魅入られ才能を開花させていく喜久雄の2人の対比が丁寧に描かれています。

特に印象的だったのは、ひとりで大舞台に立つ緊張で手が震えている喜久雄に、俊介が化粧を施すシーン。2人の複雑な関係性が凝縮された、とても美しく切ない場面でした。演技力に圧倒されました。「曾根崎心中」でのお初のシーンは、思わず見入ってしまいました。歌舞伎の所作ひとつひとつが完璧で、映像の美しさと相まって息を呑むほどでした。

実際に歌舞伎界からも絶賛されているそうで、市川團十郎さんが「観てほしい作品です」とSNSに投稿されるなど、本物のお墨付きを得ているのも納得です。「すごいものを見た」という感想がネットにあふれていますが、まさにその通り。観終わってあと、しばらくするとまた観たいという気持ちになつて3回も観に行つてしまいました。皆さんもぜひ劇場でご覧ください。

(芳賀まお)

小学生の頃は長期滞在をし、男3人のい

こと野球をしたり、鉄板でお好み焼きを焼いたりと楽しい夏休みの思い出を作ってくれた伯母が関西にいます。なかなか会えずにいたが、伯母も母も80代になり「元気なうちにみんなで会おう」と、母を通じて感動の再会の日程を調整してははず。だが、土壇場で伯母の白内障の手術日と重なり、会えなくなつてしまった。「調整を母まかせにしていたのはよくなかった」と反省はさせておき、困つたのは手元に残る大阪万博のチケット。伯母に会うついでに「せっかく関西に行くのだから」と手に入れていた。もはや伯母との再会の大義名分はなく、とはいえキャンセルすることもできない。なので、潔く「とても行きたい大阪万博旅行!」と題目を変更し体験してきた。印象的だったのはカッター。壁やソファの素材すべてが砂漠を感じさせ、入場から出口までの一貫した芸術性の高い裝飾が素晴らしい。大屋根リングの下では熱帯林のような安らぎを感じた。そして、忘れられないパソナ館の水槽。赤い培養液で満たされた水槽につるされたポテトチップスほどの大きさと形の心筋が、ひらひらと波打つように動く。その様子に見とれ、居合わせた人と「動きましたよね」「すごいですね」と自然に言葉を交わした。「俺の病氣も治るんかな」という声も聞こえた。PS細胞から生み出された1枚の心筋が多くの人に感動と希望を与えていた。「行ってよかった大阪万博」にかわつた瞬間だった。

(東本優子)



秋の

2025年

10月23-24日

# 大分旅行・神農祭

大分県由布市庄内 地球に恩返し<sup>の</sup>森  
里山のめぐみをたっぷりと味わいます

神農祭

功德院

ご当地グルメ

大分名物だんご汁

ジビエカレー

### 【日程】 10月23日(木)

- 東京・羽田空港集合 9:00
- 大阪・伊丹空港集合 10:30

### 【参加費】

- 東京・羽田空港から 72,000円
- 大阪・伊丹空港から 70,000円

### 【宿泊】

別府温泉杉乃井ホテル虹館

※宿泊はツインルームの相部屋です  
※3名以上はご相談 ※1人部屋は追加10,000円です

### 【申込み】

※定員になり次第、締切ります(定員40名)  
※お申し込みの方に詳細をお送りします

- お申し込みは **りすシステム** 0120-889-443



※観光先が変更になりました

### ツアーのご案内

秋の旅のメインイベントは、<sup>ひじ</sup>日出町のハーブ園、おおがファーム。別府湾を見渡せる美しい海辺の庭で、潮風を感じながら秋の花を楽しめます。広い敷地は、左にバラ園、右にハーブ園と分かれています。カフェや苗の販売もあり、穏やかな秋のひとときを過ごせます。宿泊は、東洋一と評判の新装された別府杉乃井ホテル。2日目は、由布市の神農祭参列の後に、地域ボランティアの手作りのジビエカレー、シイタケの炭火焼き、だんご汁など、手作りの大分グルメのおもてなしです。



お知らせ

京都大学 iPS 細胞研究所見学会 参加者募集

京都大学 iPS 細胞研究所の見どころ

- ★間仕切りのない「オープンラボ」
- ★ゲノム解析スーパーマシン

「次世代シーケンサー」

- ★ iPS 細胞研究所長  
高橋淳教授 講演会



高橋淳所長

iPS 細胞は無限に増殖でき、身体のアらゆる細胞に変化可能な技術です。今後の医療に大きな影響を与える iPS 細胞の具体的な可能性についてご紹介します。

日程：11月6日（木）

12時30分 JR 京都駅西口改札正面  
時計台・時の灯集合

▶ 京都駅からジャンボタクシーで研究所に向かいます

- 直接 iPS 細胞研究所にお越しの方は 13 時に集合をお願いします
- 13 時 30 分から研究所の見学会です  
見学終了後に講演会  
解散は 16 時 30 分予定です

参加費：無料（昼食はついておりません）

会場：京都大学  
iPS 細胞研究所  
（京都市左京区  
聖護院川原町 53）  
京阪本線  
神宮丸太町駅



定員：20名  
（定員になり次第締め切ります）

締切：10月3日（金）までにお申込み下さい  
お申し込みの方に詳細をお送りします

お申し込みは **リシステム** 0120-889-443



京都大学 iPS 細胞研究所（愛称：CiRA サイラ）



2010 年に山中伸弥教授を所長として設立され、iPS 細胞の研究を推進しています。山中教授は 2012 年にノーベル生理学・医学賞を受賞されました。現在、研究棟は 3 棟まで拡張され、間仕切りのない「オープンラボ」で様々な分野の研究者が交流しながら研究を行っています。山中教授は名誉所長となり、現在はパーキンソン病研究の高橋淳教授が所長を務めています。

- 1 iPS細胞とは、無限に増えて、人のあらゆる細胞に変化する能力を持っている細胞で、再生医療や創薬に使われています。
- 2 各研究室間の仕切りを取り払うことで、研究者同士で自由な議論をすることができます。研究機材の共同利用など研究費用の有効活用が可能です。

● 談話室 イベントのご案内 ●

◎参加費は無料です。定員数がありますので、ご予約ください  
◎定員になり次第、締め切りさせていただきます

談話室 / 例会のお問い合わせ  
お申込み先はこちら

0120-889-443



お待ちしております♪

**北海道支部**

10月6日(月) 11時～15時

11月6日(木) 11時～15時

会場：北海道支部事務所

**東日本支部**

10月15日(水) 13時～15時

10月28日(火) 13時～15時

11月15日(土) 13時～15時

11月28日(金) 13時～15時

定員：10名 会場：北の丸ガラスゲート

**中部日本支部**

10月10日(金) 13時～15時

11月10日(月) 13時～15時

会場：中部日本支部事務所

**中国支部**

10月4日(土) 12時30分～14時30分

11月1日(土) 12時30分～14時30分

会場：参加申し込みの方にお知らせします

**西日本支部**

10月23日(木) 13時～15時

11月21日(金) 13時～15時

定員：5名 会場：西日本支部事務所

**大分支部**

10月の談話室はお休みです

**北日本支部**

10月30日(木) 11時～15時

11月30日(日) 11時～15時

会場：北日本支部事務所

**東東京ランチ**

葛西事務所は都合により6月末をもって閉所しました

東東京ランチの談話室は当面の間お休みです

**西東京ランチ**

10月21日(火) 13時～15時

11月21日(金) 13時～15時

定員：5名 会場：西東京ランチ

**横浜事務所**

10月13日(月) 13時～15時

10月25日(土) 13時～15時

11月10日(月) 13時～15時

11月22日(土) 13時～15時

定員：8名 会場：横浜事務所

**九州支部**

10月29日(水) 13時～15時

11月29日(土) 13時～15時

定員：3名 会場：九州支部事務所

りすシステムはプライバシーマークを  
2025年4月2日に取得しています



「個人情報を適切に管理していると評価された事業者」が使用できるマーク、それがプライバシーマークです。プライバシーマークは、個人情報の取扱いを適切に行い、法令以上にしっかりと対応していることを表しています。



**NPO りすシステム**  
0120-889-443

**りすセンター・新木場**  
 0120-373-959